

# しらゆり

地域とともに歩むしらゆり会 [広報誌]

shirayuri  
第34号  
2018  
August





# しらゆり

2018 August

2

理事長挨拶

しらゆり第34号発刊に寄せて

3

法人基本方針

平成30年度運営方針

しらゆり会役員等名簿

4

創立52周年記念式典

(永年勤続者表彰・新規採用職員)

5

平成29年度寄付・寄贈

新施設長就任のご挨拶

入札結果

苦情処理状況

6

平成29年度決算報告

平成29年度施設整備事業

7

施設の活動報告

救護施設 泉の園

障がい者支援施設 希望の園

相談支援事業所 ねくすと

共同生活援助事業 互助の館

就労継続支援A型事業 ワークセンター島根

障がい者支援施設 光洋の里

生活介護事業 さざなみ

軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷

特別養護老人ホーム 詔光の里

特別養護老人ホーム いやしの館

老人デイサービス事業 きらめき

老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねぎらい

訪問看護ステーション 暖心

居宅介護支援事業所 ナイス

児童福祉施設 しらゆり保育園

児童福祉施設 しらゆり第2保育園

児童福祉施設 しらゆり第3保育園

児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園

23

視察研修旅行記



# しらゆり第34号発刊に寄せて

社会福祉法人しらゆり会

理事長 国頭 正治

今年は医療・福祉の報酬改定が行われました。福祉事業は全体的には僅かながらもプラス改定ではありましたが、その仕組みには大きく差を設けた中身となっております。どの事業所もろ手を挙げての喜びには繋がりません。

障害児の放課後等デイサービス事業所では報酬改定により市区町村の障害の判定に対し、調査もなく80%超の事業所で低い報酬区分に分類され経営が悪化したと訴えています。

また、介護に於いては報酬減で軽度者サービスが縮小傾向に向かっております。大手事業者も軽度者向け訪問介護から撤退をし始めております。そこには、2017年度までに要支援1、2の人向けの訪問・通所サービスが介護保険から市区町村の「総合事業」に移され、自治体間の格差が生まれた結果でもあります。

そもそも、介護保険が国の財政的な事情による抑制を「在宅重視」を強調しているため、大きな歪みを生みだしております。また、「在宅重視」は高齢者が家族と同居していることを前提とした制度設計のため、少子化などの影響で家族が身近に居ないことは想定しております。このままでは何のための制度化かは疑問が残ることとなります。

また、国は医療福祉分野の就業者数は、2018年

度の823万人(就業者数全体に占める割合12.5%)から、2025年度931~933万人(就業者数全体に占める割合14.7%)、2040年度1,065~1,068万人(就業者数全体に占める割合18.8~18.9%)と大きく増加するものと見込んでいます。しかし、どこにそのような就業者が存在しているのでしょうか。少子高齢化により労働者人口は減少するばかり。机上の空論にすぎません。

保育所の待機児童解消で受け入れ保育所の整備計画を計上しておりますが、まず保育士が確保できなければ同じことです。

国は税や保険料で賄う医療、介護等社会保障費が2018年度では121兆円、2040年度に190兆円になるとの推計を公表いたしました。社会保障費を額面通りに増額できないことは承知しております。どこかにしわ寄せは起き、個人負担が大きく膨らむことに繋がることでしょう。憂いてばかりはいられません。どのような状況下でも、我々が行う福祉を無くすことなく前を向きながら、そして自問自答を繰り返し地域と共に進みたいと再確認しております。

今後とも地域と共に歩むしらゆり会にご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 法人の基本方針

社会福祉法人しらゆり会は、利用者の皆様へ、そして地域福祉充実のため次の五つの目標を掲げ、しらゆり会の施設やサービスを利用して良かったと言っていただけ利用者の役職員一丸となって利用者の皆様へのサービス提供に努めます。

### 一・人権の尊重

(利用者の基本的人権の尊重)

### 二・良質なサービスの提供

(安全・安心・快適なサービスの提供)

### 三・信頼性の確保

(苦情の申し出に対する親切的対応)

### 四・地域福祉への貢献

(地域の皆様へ社会福祉事業への理解促進及び知識普及)

### 五・法令遵守

(法令の遵守による適切な運営と透明性の確保)

平成30年度

## 法人の運営方針

社会経済状況の変化や財政の抑制、少子高齢化の進展、国民の生活意識の変化などにより、福祉問題はさらに深刻化と拡大が進み、社会福祉制度や施策、福祉サービスのあり方が問われるようになってきています。

当法人においても、その有する施設機能や専門性、ノウハウを活かした社会福祉法人以外では対応できない制度の狭間にある課題に積極的に取り組み、地域社会における存在意義を高め、必要とされる法人運営を目指してまいります。

### 重点目標

#### 一・福祉人材の確保

島根・鳥取両県においても福祉サービスのニーズの増大、高度化、複雑化が一層進んでいるが、一方で若年労働者の減少が進み、人材難の状況は続いている。当法人においても、社会福祉従事者を相当数確保していくことが必要であり、地域の理解を求めていくとともに、労働条件の改善や育成環境の整備などに取り組み、魅力ある職場作りを積極的に進め、人材の確保に努めていく。

#### 二・適切な運営と質の向上

福祉業界では、ここ数年で数多くの民間サービスが参入しており、競争が激化している。社会福祉事業という公益性の高い事業を安定的・継続的に運営していくため、本部としても現場の意識改革やサービスの質の向上等について適切に支援を行い、選ばれるための法人運営を進めていく。

## しらゆり会役員名簿

(平成30年4月1日現在)

### しらゆり会役員名簿

(任期/平成29年6月23日～平成31年定時評議員会まで)

職	氏名	現在の職業及び公職
理事	国頭 正治	理事長
		泉の園・ワークセンター島根施設長
	国頭 正久	統括事務局事務局長
		詔光の里施設長
	比良 幸男	松江市議会議員
	小林 良二	社会保険労務士
	須谷 留	(元松江市民生児童委員協議会事務局長)
	森 晴美	(元本会施設長)
錦織 暁	(元栄徳商事(株)常務取締役)	
監事	廣瀬 芳徳	(元栄徳商事(株)代表取締役)
	出雲あかり	松江市立病院 医療ソーシャルワーカー

### しらゆり会評議員名簿

(任期/平成29年4月1日～平成33年定時評議員会まで)

職	氏名	現在の職業及び公職
評議員	三島 進	松江市議会委員、(有)三島運輸役員
	瀬崎 淳一	(有)ベリーショップ専務取締役
	山本 寿子	松徳学院高校非常勤講師
	上田 恭己	松江栄養調理製菓専門学校校長
	石田 正美	希望の園保護者会会長
	花田 範久	山陰中央新報社論説委員
	中島 修	(元社会福祉事業団職員)
	金築 宏	島根銀行本店営業部長
	竹田 純子	(元本会施設長)

# 社会福祉法人しらゆり会 創立52周年記念式典



理事長あいさつ

本会創立52周年記念式典が、平成30年4月13日サンラポーむらくもで開催されました。

当日は、理事、監事を含む役員・職員約70名が集い、永年勤続表彰、新規採用職員紹介等が行われました。また記念講演においては、小村臨床心理士事務所の所長である小村俊美氏をお招きしました。様々なハラスメントについて、心理学を通してご講演頂き、自分の言動を省みる良いきっかけとなりました。



記念講演 (小村講師)

## 永年勤続者表彰

今年度は勤続20年の表彰者は4名、10年の表彰者は5名となりました。勤続20年を迎えると海外、10年を迎えると国内への職員特別研修視察に行くことができます。

### ■永年勤続表彰者

年数	施設名	職名	氏名	採用年月日
20年	しらゆり第2保育園	施設長	福田 修子	平成10年4月1日
	詔光の里	主任	安達 広朗	//
	しらゆり第3保育園	主任	斎藤 真由子	平成9年4月1日
	しらゆり第3保育園	保育士	寺井 かおり	//
10年	泉の園	用務員	松本 正幸	平成20年4月1日
	しらゆり第2保育園	保育士	神庭 由妃	//
	しらゆり第2保育園	保育士	杉峠 由貴	//
	しらゆり千鳥保育園	保育士	小田中由利香	平成19年4月1日
	暖心	看護師	仲田 美香	平成19年6月1日



永年勤続(20年)



永年勤続(10年)

施設名	職名	氏名	採用年月日
しらゆり第3保育園	施設長	藤井 慎一	平成30年4月1日
泉の園	介護職員	泉 拓也	//
	介護職員	那須 貴一	//
希望の園	支援員	松村 剛	//
	支援員	石倉 貴弘	//
光洋の里	支援員	村川由加理	//
	支援員	桐原 翼	//
	支援員	塩谷 克美	//
	機能訓練士	田村 祥	//
	機能訓練士	後藤 千晶	//
	調理員	柏木 玲奈	平成29年10月1日
夢楽の郷	調理員	千歳 華鈴	平成30年4月1日
	調理員	原 彩人	//
詔光の里	介護職員	安田 千紘	//
	介護職員	大村 和哉	//
しらゆり保育園	保育士	村井 美紀	//
しらゆり第2保育園	保育士	成相 佳織	//
	調理員	藤原 美紀	//
しらゆり第3保育園	保育士	木村 麻美	//
	調理員	三原 彩	//
事務局	主事	村上 千晶	平成30年3月1日

## 新規採用職員



新規採用職員

# 平成29年度 寄付・寄贈

平成29年度も多くの方々から  
善意の御寄付をいただきました。

寄付者 (敬称略)	施設	寄付物品
北陽冷蔵(株)	光洋の里	寄附金
境港歌吉愛好会	光洋の里	寄附金
武上起敏	いやしの館	寄附金
希望の園保護者会	希望の園	寄附物品
しらゆり保育園保護者会	しらゆり保育園	寄附物品
しらゆり第2保育園保護者会	しらゆり第2保育園	寄附物品
しらゆり第3保育園保護者会	しらゆり第3保育園	寄附物品
しらゆり千鳥保育園保護者会	しらゆり千鳥保育園	寄附物品

(掲載対象期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日)

## 新施設長 就任のご挨拶



しらゆり第3保育園  
施設長  
藤井 慎一

四月から、しらゆり第3保育園で勤務している藤井です。

三月までは、保育園・幼稚園等から園児をお迎えする側の小学校に勤務していました。無事三十八年間の勤務を終え、『一息つこう』と正直考えておりました。しかし、いつの間にか小学校へ子ども達を送り出す側に立っている自分に、不思議を感じています。これも何かの縁かと。

とはいえ、長らく務めた小学校と保育園との差は予想以上でした。保育園・幼稚園には、入園式や育了式そして発表会や運動会に招かれて、小学校長の立場で幾度も行っています。そんな私でしたが、平素のそして終日の保育園の動きを知っていたわけではありません。

しらゆり第3保育園に勤務して、一番の驚きは、細やかな勤務体制でした。職員の皆さんは、毎日のように通常・早出・遅出等出勤時間・退

勤時間が変わります。それに比べ小学校では、先生方は定められた勤務時間に合わせ、一律の流れで出勤・退勤します。もちろん、出勤が早い先生や退勤が遅い先生など個性はありますが、苦笑。そうそうタイムカードを通すのも初体験。

子ども達でいえば、最長で小学校と同じく六年間を園で過ごします。小学校に勤務しているときは、一年生と六年生との差を非常に大きなものと捉えていました。でも考えてみれば、保育園での六年間はそれ以上かもしれない。何せ生後43日目から受け入れるのですから。

孫のような子ども達に囲まれ、長年の小学校での勤務経験を生かすことができれば最高と考え、頑張っています。

何卒よろしくお願いいたします。

## 最近の入札結果

① 入札事業名：詔光の里  
空調更新工事 (指名競争入札)

### 1. 入札場所

松江市山代町934-5  
詔光の里 研修室

### 2. 入札年月日

平成29年8月1日

### 3. 入札参加業者

シンセイ技研(株)  
山陰クボタ水道用材(株)

新和設備工業(株)

山陰温調工業(株)

(株)太陽水道工業

島根水道(株)

### 4. 入札結果

落札業者：シンセイ技研(株)

落札額 75,600,000円

(消費税及び地方消費税込み)

### 5. 契約年月日

平成29年8月7日

## 苦情の状況 (平成29年度)

苦情受付総数25件のうち、9件が職員に対する苦情でした。具体的には、職員の対応時の印象の悪さに対する苦情、親族に対する説明が不足している部分がある等の内容でした。また、サービス提供に関する苦情が2件、利用者間でのトラブルに関する苦情が9件、その他が5件でした。

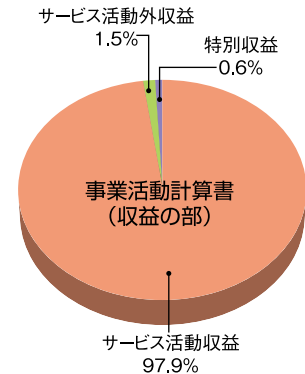
これらのお申し出頂いた苦情に対し、職員間での協議を重ね、ご本人様やご親族の皆様への説明を丁寧に行うことにより解決して参りました。

今後もお申し出頂いた苦情を真摯に受け止め、より良いサービスの提供が出来るよう精進して参ります。

# 平成29年度決算報告 (社会福祉法人しらゆり会)

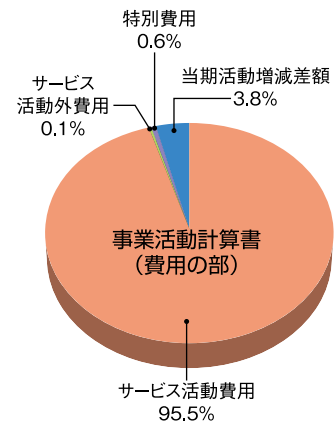
## 法人単位 貸借対照表 (平成30年3月31日現在) (単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	949,903,992	流動負債	305,543,500
固定資産	5,599,640,002	固定負債	344,372,252
		基本金	941,339,123
		国庫補助金等特別積立金	143,489,472
		その他の積立金	939,341,513
		次期繰越活動増減差額	2,584,138,134
資産合計	6,549,543,994	負債・純資産合計	6,549,543,994



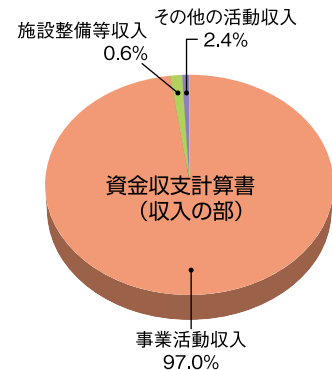
## 法人単位 事業活動計算書 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日) (単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
サービス活動費用	2,288,777,621	サービス活動収益	2,345,585,917
サービス活動外費用	2,167,094	サービス活動外収益	35,186,676
特別費用	13,693,911	特別収益	15,191,894
当期活動増減差額	91,325,861		
合計	2,395,964,487	合計	2,395,964,487



## 法人単位 資金収支計算書 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日) (単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	2,164,453,205	事業活動収入	2,381,654,373
施設整備等支出	213,047,666	施設整備等収入	14,932,499
その他の活動支出	115,891,235	その他の活動収入	58,578,425
当期資金収支差額	△ 38,226,809		
合計	2,455,165,297	合計	2,455,165,297



(注)しらゆり会では監事による監査のほか、外部監査を公認会計士山川博司氏に委嘱し透明性の確保に努めています。

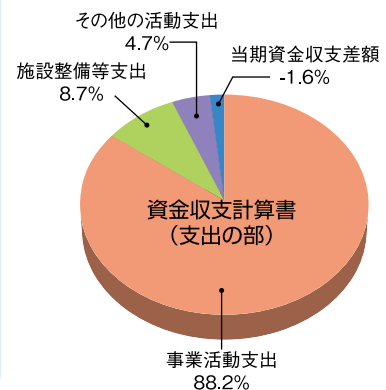
### 平成29年度 施設整備事業

#### 1. 修繕関係

駐車場砕石敷き工事	(光洋の里)
分煙間仕切り室工事	(光洋の里)
南側外部污水配管系統改修工事	(夢楽の郷)
敷地内支障木伐採作業	(夢楽の郷)
空調設備工事	(詔光の里)
屋外通路階段改修工事	(互助の館)
保育室エアコン取替工事	(しらゆり第2保育園)
職員室エアコン取替工事	(しらゆり千鳥保育園)

#### 2. 備品関係

送迎用車輛(更新)	(泉の園)
厨房エアコン	(いやしの館)
ナースコール・電話設備(更新)	(希望の園)
水洗機・乾燥機(更新)	(希望の園)
急速冷却機	(しらゆり第3保育園)
訪問用車輛	(暖心)



こんにちは！  
行きました！

# 施設の 活動報告

社会福祉法人  
しらゆり会では  
様々な取り組みを  
行っています。  
今回も、各施設からの  
声をお届けします。

## 救護施設 泉の園

遠足に行ってきました！



遠足晴れますように

春、泉の園は遠足の季節がやってきました。今年の利用者の方の体調に合わせて、2班に分かれての実施を試みました。第1班は朝から出発し、斐川町にある山陰中央新報制作センターの「しんぶん学聞館（まなぶんかん）」、やゴビウスを見学しました。そして第2班はゴビウスだけの短いコースです。皆さんの日頃の行いの素晴らしさと、機能訓練班で作った、テルテル坊主の願いも届き、両日とも晴天に恵まれました。

しんぶん学聞館では、私たちの手に新聞が届くまでの工程をとっても丁寧に説明して頂けました。新聞は昼間の出来事をまとめ、夕方に印刷されるので、残念ながら見学できる時間帯は、機械が動いておらず、「動いているところも見てみたかったなあ」と言った声もありました。しかし、普段何気なく手にしている新聞だけに「凄いねえ」「あんな風に出る上がるなんて考えてもみなかった」「昔の作り方と違うわあ」と歓声が上がった事は言うまでもありません。

また、過去の年月日を入力するとその当時の一面記事を見る事が出来るコーナーもあり、皆さん自分の誕生日を入力して楽しめました。

ゴビウスはご存知の通り、決して



みんな、興味津々！



第2班、元気にはい、チーズ！

て大きな施設ではありませんが、地元宍道湖の生き物についてゆつくり鑑賞する事が出来、見ごたえは十分でした。

何より、日常から離れ、利用者の方と職員が一緒に過ごす事は貴重な時間になりますので、お互い新しい発見が出来たと思います。私も普段見られないような皆さんの笑顔に触れ、また新たな気持ちでお仕事できる、そう思う事が出来た2日間でした。



## 生活介護

～音楽療法（生活介護・生活通所）新たな取り組み～



リズムに合わせて

今年度から新たな取り組みで、音楽療法を始めました。外部から音楽療法士の金山先生に来ていただき、月に2回（隔週金曜日）の活動の中で、生活介護と通所の方々と一緒に職員も参加しながら音楽に合わせ、ボールや楽器等の小物を使いながら、遊びを混ぜた中でリズムよく体を使い活動し始めております。利用者の方々も初めての音楽療法に戸惑う事も無く、意味は分からなくてもニコニコしながら真似をする方や、分かっ

ていても先



こんな感じかな

生のピアノの音と体の動きが合わずにイライラする方など様々ですが、皆さんと一緒にする事が楽しそうに過ごされています。

音楽を聴くだけではなく、生活の中に音やリズムを取り込み、利用者同士の集団生活の中での協調性に活かせたり、嚙下訓練を兼ねたりと、無意識のうちに様々な要素を取り入れ楽しい施設暮らしの材料となっているのではないかと感じます。

利用者個々の楽しみだけでなく、支援者にとっても新たな刺激となり、今後は、利用者と一緒にイベント等での披露できる場を設けていきたいと考えています。

## 就労移行

～一般就労へ～



工作中的のNさん

希望の園、就労移行支援の利用者から2名の方が一般就労することができました。今回一般就労された2名の利用者の方は、就労移行サービスを利用してから2年間の間クリーニングの作業に参加し課題を克服しながら、実習を経験したのちに就職しました。高校を卒業してまもなく希望の園を利用し、体力、気温など厳しい環境の中での作業で、挫けそうになりながらもクリーニング作業に参加して



工作中的のKさん

いた彼らが、就職活動を本格的に始める時には、クリーニングの作業の中では欠かせない存在となっていました。そのたくましく成長した彼らの姿を見て現場で対応していた職員も喜んでいました。様々な方たちの力添えもあり就職する事が出来ましたが、今後は彼らがより長く働き続けられるよう、職場への定期的な訪問を行い、見守っていきたいと思っています。

り就職する事が出来ましたが、今後は彼らがより長く働き続けられるよう、職場への定期的な訪問を行い、見守っていきたいと思っています。

## 「ねくすと」の合言葉

平成二十六年二月一日に事業を開始してから、早四年あまりが経過しました。

当初二名体制の大混乱の幕明けから、あつという間に時は流れ、今は三名に増え、まさしくスクラム組んで取り組んでいるところです。

今までに関らせて頂いた様々なケースを通して、最近一番感じるのは、本人や御家族は勿論、関係機関との良好な信頼関係の大切さです。これが簡単なようで一番難しいところですが、ここが構築できていなければ、いろんな場面で上手く行かなくなってしまう、仕事としては「失敗」ということになります。



では「成功」するためにはどうしたらよいのか？

ここでいう成功とは、出来るだけ短期間で、利用者さん本人の希望する生活を、周囲の家族や支援者も納得の行く形で実現させることだと考えます。

でも：たった三人で？

この日々の煩雑な中でどうやって？

その答えは、今でもまだまだ模索中ではありますが、唯「ねくすと」が心掛けていることは、一人の相談支援専門員の考えに偏らないことです。



内容によっては、我々が発する言葉が、その人、或いはそのご家族の人生を左右する場合もあり、一人で背負うには重たすぎる時もあるのが現実です。

そういった毎日の中、特に大事にしていることは、新規利用の方のインテイク（初回面接）の段階です。必ず二名で対応し、今後の支援方法について、時間をかけて検討して行きます。

この段階で、一人の相談支援専門員の思い込みや、拘りで判断することが避けられるのです。

その後解決すべき事柄について、三人三様の考えや方法を出し合うことで、決して個人の考えではなく、「ねくすと」としての方向を導き出していくことが出来るようになりました。

今のねくすとは、知らず知らず、この言葉が合言葉になっていきます。

**「急がば回れ〜！」**

これからも、この言葉を心に刻み、三人でスクラム組んでより良い「仕事」をしていきたいと思っています。



# めざせストライク！ レーンに歓声響く、ボウリング大会



スベア取れるかな??



ピン、倒れて!

6月初旬、毎年恒例のボウリング大会に今年度も互助の館からたくさんの方が参加がありました。参加した大会は「第19回島根県障がい者スポーツ大会」のボウリング部門です。19年前から開催されている伝統の大会です。島根県下から115名の参加者があり、会場は熱気に包まれていました。互助の館からは例年より多い、16名の参加があり、ゲーム前から「良いスコアを出そう」と期待感にあふれていました。また、参加者は、昔か

らボウリングに親しんでいらっしゃる方が多く、「今日は100以上のスコアが出たらいいな」「表彰されたいな」などとも言われていました。互助の館は4レーンに分かれ、ゲーター無し1レーン、ゲーター有り3レーンで、さあ！ゲーム開始です。皆さん、思い思いのフォームでの投球です。連続でスベアを取る方や、溝掃除（ゲーター直行）の方と、様々ですが、笑いとお歓声の絶えない時間が続きます！

ある参加者の方は、ボウリング経験がほとんどなく、打球フォームが定まらず、苦戦していました。引率職員もボウリング経験は乏しいですが、なんとかしなければと思い、フォームをあれこれ伝授しました。しかし、なかなか真つ直ぐにボウルは進みません。ゲームが進行するにつれて、やっぱり楽しんだほうが良いと思い、手首が痛まない程度の自由な投球フォームに変えたとたんに、ボウルは真つ直ぐに進み、ピンが倒れ始めました。これが自信になり、またボウリングがしたい、と笑顔で言われたことが印象的でした。



楽しく、みんなでパチリ!

そして、個人戦でも、上位入賞者が続出しました。素晴らしい結果を残し、清々しい気分分会场を後にしました。来年も、皆で、この恒例行事である「ボウリング大会」に楽しく参加できるように、腕に磨きをかけて準備したいと思っています。

## 五年間を振り返って



私がワークセンター島根に入社して五年が経ちました。ワークセンター島根では電算、断裁、レターファイル、綴り込み、バインダーの四部門に分かれて利用者、支援員共々作業に励んでおります。私が入社して間もない頃は、主にバインダー部門やレター

ファイル部門で扱う機械の操作等について先輩職員の指導のもと、四苦八苦しながら携わってきました。その後も機械の修理や研修等の経験も積んでいき、現在では一人で任せていただくことも多くなり、責任感を感じています。また、初めの頃は利用者の



方々とのコミュニケーションがうまくとれるか等、不安も多かったのですが、私のつたない作業内容の説明や指示出し等も良く聞いていただけ、休憩時間の雑談等でコミュニケーションを取る機会も増えたことから、初めの頃にあった不安も今ではその多くが解消できていくことに気づきました。

このように五年間を振り返ってみますと仕事の仕方や利用者の方々とのコミュニケーションの取り方等、五年間で学んだことや私自身が変わったことに気づけ、成長した部分を実感できます。今後目標を持ち、節目での振り返りを大切にしていき、日々精進していきたいと考えております。



イキイキ・ワクワク 快適な暮らしを送るために

平成三十年度より光洋の里では多くの利用者様のニーズに応える為、開所以来初めて理学療法士二名体制となりました。充実したりハビリを提供でき、ご家族の皆様にも大変喜んでいただいています。日々のリハビリ活動において、まずテーマ、題名を設定し、

**S (主観的情報)**  
 || 利用者様の話から得られた情報

**O (客観的情報)**  
 || 身体観察・検査から得られた情報

**A (評価・統合と解釈・考察)**  
 || S,O から考えられる事

**P (計画、治療)**  
 || 治療方針、内容、生活指導

このような手順で取り組んでいます。リハビリ拒否のある利用者様に対してリハビリの介入をした際の一コマです。



歩くって楽しい♪

**S**…「やっても意味ないのでいきません」

**O**…週2回のリハビリを提案するが、Sの理由で拒否をされる。支援員さんより「夜間ポータブルトイレが行きにくくなっている」とのこと。

**A**…リハビリに参加されないため、活動量が低下し廃用症候群による筋力低下が進んでいることが考えられる。

**P**…筋力増強運動、移乗動作練習、バランス練習



調子はどうですか？

とし、現在はリハビリ室に自室的に入室されリハビリに意欲的に取り組まれる様になっています。

また、食事をテーマとした事例では、

**S**…「食べさせてもらっている」

**O**…現在、支援員介助により食事摂取している。左上肢の挙上動作わずかな可動域だが、自力で可能。食事のスプーン動作を模倣にて行うが、口元へのリーチ動作も可能。



このリハビリ、お腹すくんだよなあ…。

**A**…今後、リハビリにて左手での食事動作練習を実施し、手と目の強調や手と頭部の協調的な運動を促していく必要がある。

**P**…食事動作練習を実施し、利用者様の気持ちに寄り添い、個別支援計画に反映することで、親族様にも大変喜んで頂きました。

その他移乗・更衣・排泄等様々な場面で、利用者様自身が苦痛なく過ごすことができよう、理学療法士と支援員が連携を取りながら、喜びのある快適な暮らしのお手伝いをさせて頂こうと考えます。

## 春の外出！

### 花回廊で楽しいひとときを…

現在さざなみを利用されている方の中には、他の事業所を併用されている方が多くいます。月曜日はA事業所、火曜日はB事業所といった具合に、自分のニーズに合った選択をされています。利用者の方々が何を望まれるのか、選ばれる事業所にするためには何をアピールすればよいのか、日々考えさせられます。

そのような中、さざなみの活動の一環として、月に数回をめぐりに外出を行っています。桜やチューリップ、紅葉などの四季折々にあわせた観光や、買い物、食事など利用者の方々の要望を聞きながら、それを少しでも叶えたいと思います。計画を立てています。外出



きれいなバラだね！

は、当日が利用日の方で、全員で行ったり、少人数で行ったりと様々ですが、年間を通して利用者の方に満足してもらえようと考えています。利用者の方には個々に想いがあり、普段はできないので行ってみたい、思い出の場所すべてを実現することは不可能だとは思いますが、一つでも多くの要望を叶えてあげられたらと思います。



う～ん、おいしい！

5月には、当日の利用者の方全員がイオンモールで食事をし、その後、とっとり花回廊に行ってきました。昼食は、自分の食べたものをそれぞれが考え、普段なかなか食べる口ができないものを口にされ、とても満足そうでした。花回廊では、天候にも恵まれ、新緑の中行く先々でたくさんのお花に囲まれました。そして、みなさんに自然に笑顔が生まれ、活き活きとされ、付き添っている私たちも楽しい一日となりました。



大山とフラワードームをバックに…

今後、外出以外の活動においても、他の支援員と協力しながら、日々の家庭生活ではできないようなことへの支援を可能な限り行えるよう、一人の支援員として常に利用者の方々に寄り添っていかうと思っています。そして、さざなみが介護事業所を利用される方々の選択肢となれるよう頑張っていきます。

## 夢楽の郷 新緑お茶会

常松施設長が以前夢楽の郷に勤務しておられた頃、国頭正巳前会長自ら入居者の皆様にお茶を点てて振る舞っておられました。当時のことを思い出し、昨年の6月に10年ぶりに「夢楽の郷 新緑お茶会」を開催しました。

ひさしぶりにお茶会を開催するにあたり、まずは茶道具の準備から行いました。茶釜や水指、茶筌等様々な道具があります。ひとつひとつ汚れを拭き取り、1週間ほど陰干しをしました。当日までに抹茶や和菓子等を用意して、入

居者の皆様に提供しました。夢楽の郷の茶道具は立礼棚といい、裏千家の茶道具です。表千家と裏千家の違いはくつかありますが、お茶の点て方も違います。表千家のお茶は、あまり泡を立てず池を作るように点てます。裏千家のお茶は、表面に細かい泡を点ててコーヒーマシンのようなように点てます。しかし、どちらも美味しいお茶を飲んで

頂きたいという思いは同じです。

ロビーを野点風にしつらえました。



皆様うれしそうに抹茶と和菓子を召し上がっておられました。

あるいは江戸時代の大名が狩りの傍ら茶道具を持ち出して、戸外で休憩を兼ねてお茶を楽しんだことが由来とされています。姉妹施設であるいやしの館の石田看護師にお手前を披露して頂き、入居者の皆様にお茶と和菓子を楽しんで頂くことができました。

9月の「夢楽の郷 喫茶・展示会」でもお茶会を行いました。入居者の皆様のみならず来郷者の方々にも薄茶と和菓子を提供し、楽しんで頂きました。

今年度も7月に「初夏のお茶会」を予定しております。今後も入居者の皆様に喜んでいただけるような行事を企画してまいりたいと思います。

## 食の楽しみは健康であることと考える

私達日本人は一年を通じていろいろな行事があり、それに伴い行事食が生まれたそうです。

また、四季のある日本では、自然の恵みとして与えられた旬の食材が豊富であり、行事食にはそれぞれの旬の恵みを取り入れたものが多く、季節折々の野菜が上手く行事に組み込まれています。詔光の里では、そんな旬の食材で毎日の食事を提供し楽しんで食べていただけるよう心掛けています。行事食でなければ食べる機会の少ない食材や調理法もあり、私達給食部職員は、学生時代初めて学んだころを思い出して新鮮な気持ちに戻ります。また、幼少期から食べていた母の味、家族で一緒に作った思い出の一品など私達も食事からの行事が知らず知らずに思い出されます。



詔丸頑張り!! 手強いブリ発見!!



11キロの寒ブリだ! ドーン!



田中屋鮮魚店様よろしく申し上げます



さあ、さばくぞお!!

つまり、日本の四季と食事との思い出は共存しているのだと思います。生きるために必要な「食べ物」ですが、行事食は違った意味での大切さがあるということに改めて気付かされます。

近年では食生活も豊かになり、生活様式も多様化してきました。行事食も昔通りに再現することが難しくなり、新しいものに変化していることも少なくありません。この微妙な間の「いいかげん」を取り入れ、詔光の里の献立を立て

てるように心掛けています。嗜好調査、親族様を交えてのケース会を通じ、利用者様の嗜好や食習慣などの食の歴史を伺うことにより、更に利用者様のことを知ることが出来ます。また、食欲不振や水分不足、咀嚼嚥下、機能低下、便秘などの食に関わる問題の糸解きに早く導かれることも多く、改めて食の大切さに気付かされます。

食事の時間は、人生において毎日やってきます。自分の口から食べることで、そして味わうことの楽しみは健康でなければ感じることの出来ないことです。できるだけ長く利用者様にその楽しみを感じて

いただけるようこれからも努力、勉強していきたいと考えています。

こちらは、昨年冬の楽しんで頂いた、納入業者田中屋鮮魚店様の協力による、職員の寸劇を交えた「寒ブリ解体ショー」の写真です。職員がブリになりきり、漁師と格闘する様からブリを捌くところまで見ていただき、盛り上がったショーのあとで美味しく食べて頂きました。利用者のみなさんの食の思い出になってもらえたと：：思います。



## いやしの館でしか出来ない事を 目指して

いやしの館は定員20名の小規模施設です。

小規模だからこそ出来ることは何か？と考え日頃のコミュニケーションで知る小さな望み、そこに注目し今年度の望み叶え隊2018』と称して活動を始めました。その活動内容を少しだけお話しさせていただきます。

設備が整った家族風呂から見える風景は新緑。ご本人とてもリラックスしておられ、ゆつくり温泉に浸かることが

お風呂好きの男性ご利用者。ご家族より昔から温泉が好きで多久の湯の常連だった、とのこと。ご家族の了解を得て職員と一緒に快晴の中、多久の湯へ。



いい湯だなあ〜♪



いつも以上の笑顔で完食。

できました。入浴後のお楽しみは、食堂にて『海鮮炊き込みごはん定食』を食べました。温泉以上の笑顔が溢れていました。短い時間でしたが、ご利用者に喜んで頂けて職員も心温まるひと時でした。外出後はすぐに写真を現像してご家族へ報告しました。

現在4名の望みに対応しました。人それぞれの望みを今後叶えたく、今日もまた『望み叶え隊』が立ち上がります。

きらめくレクリエーション

デイサービスきらめきでは、様々な内容のレクリエーションを提供し、ご利用者様の大切な楽しみとなっています。提供するレクリエーションは、グループや個人で行うもの、動きのあるもの、年間、月間で行う企画など様々です。また、提供するレクリエーションは毎回違い、季節によっても内容が異なります。そして、ご利用者様が楽しみにされているのが、このレクリエーションの時間です。

毎日提供するレクリエーションは心身機能向上や脳の活性化が期待できます。日頃と



今日は綱引き「よーいドン！」

は違う環境により、生活の張りが生まれます。楽しみが増え、他の人ともコミュニケーションが増えます。このレクリエーションを、どの様な内容で企画したら良いのか、計画を立てる際に考える事が沢山あります。ただ、不変である事は、ご利用者様のニーズを把握し「楽しかった」「また来たい」と感じて頂ける様なレクリエーションを企画する事です。笑顔や表情が乏しくなりがちでも、満面のほほ笑みを見せてくれるご利用者様。毎日、このほほ笑みを引きだし、職員間で切磋琢磨しながらこれからも大切な時間を提供したいと思えます。



何ができるかな～？

ご本人とご家族に寄り添う

新規ご利用の依頼を受け訪問した際、ご自宅が正に足の踏み場もない状態で、衝撃のあまり目が点になったのがAさんとの初めての出会いです。各部署が集まったの担当者会議の前にまずは大掃除、流し台に溜まった大量の食器の片付け等を、相談支援専門員さんとご本人と数時間かけ行いました。

そして4日後、本格的にヘルパー導入となり何うと：また、あの光景が再び！でも仕方ありません。Aさ



今日も一緒に掃除や調理をしましょう！

んは、本当は綺麗好きだけど片付けが苦手という特性をお持ちで、しかも3人の子育てと不規則勤務のご主人のお世話を甲斐甲斐しくしておられるんですもん。そしてこの度、4人目のお子さんを無事出産されました。訪問する度にお子さんの成長を見られることは、私たちにとっても楽しみでもあります。

お母さんとして家族の為に、自分が出来る限りの事を一生懸命されているAさんの姿は、同じ母親として見習うべき所が沢山あると、訪問する度思わされま

す。これからも私たち訪問介護員は、Aさんにとって良き相談相手、良き理解者として困っておられる部分のお手伝いをし、微力ながらAさん家族の一助になれば嬉しいです。

## 人生に寄り添える リハビリをめざして

訪問看護ステーション暖心で作業療法士としてリハビリ業務に従事している砂流と申します。

作業療法士になって二十年になります。

「作業」を通して患者さんの心と体を元気にする仕事に憧れて作業療法士になりました。学校卒業後、総合病院で入院・外来の患者さんのリハビリを行っていました。リハビリをして元気に退院されても、転んで骨折したり、調子が悪くなったりして病院に再入院される患者さんが多くいらつしやることに何かやりきれない気持ちでした。家に帰ってから患者さんがどのように過ごされているのかと疑問を抱くこともありました。療法士として患者さんをより深く支える為には、患者さんの生活の中で一人ひとりと長く関わっ

ていくことが大切なのではないだろうかと思ひ、地域医療に関心を持つようになりまし

た。そして現在、暖心で働かせていただくようになり、五月からは理学療法士と二名体制で訪問リハビリを提

供できるようになりました。在宅での考え方や訓練方法など学ぶことも多く、日々やりがいを感じています。

利用者様やご家族様の話を傾聴し、その方の生活の中の一つ一つの目標を一緒に見つけながら、看護師、理学療法士や他職種の方々と協同して深くかかわっていきたいと思います。その方の人生に寄り添える訓練士を目指して頑張ります。

砂流 登志子



トマト作りされるOさんと

## 居宅介護支援事業所 ナイス

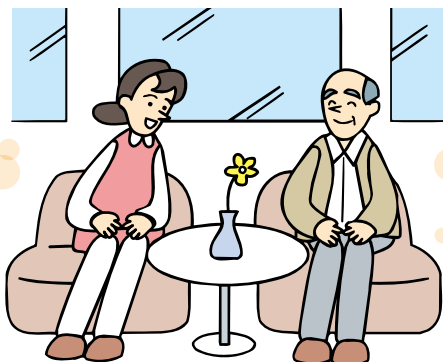
### 生活の場を変えること

高齢者の方の多くは、体の状態の変化や家族などの環境の変化により、生活の場を見直さなければならなくなる事が少なくありません。ご利用者のAさんもそのお一人です。

80歳過ぎまで県営団地の4階にお独りでお住まいでしたが、持病を抱えながらの階段の昇降や、最低限の身のまわりの事を自分でこなす事への負担が大きくなり、高齢者施設に入居する事を自分で決められました。施設に入居されてからのAさんは、持ち前の前向きな性格もあり、以前から付き合ひのある馴染みの人達との関わりも続けながら生活されていきました。一般的には、Aさんのように自分で次の生活の場を決められる方は少なく、多くは必要に迫られて止むを得ず周囲が決めるというのが現状

です。

このように、高齢のご利用者の生活は変化しやすく危うい面もありますが、新たな生活の場がそれまでの場所よりも安らげる所となるよう、ケアマネジャーとしての役割を果たしていきたいと思ひます。



心豊かにたくましく生きるしらゆりっこの育成をめざして  
 ～メディア研修会を通して保護者と共に学ぶ～

今年度、しらゆり保育園では「乳幼児期の子育てとメディア～上手な付き合い方～」という演題で島根の子どもとメディア研究会会長伊藤紀子先生による講演会を行いました。この講演会には事前に、「玉ねぎとスーパリーの袋を準備して参加してもらって下さい」という依頼がありました。メディア研修会に玉ねぎ？スーパリーの袋？一体何に使うのだろうか？どんな講演会なのだろうか？興味と期待を持ったのはきつと職員だけでなく保護者の方も同じだったのではないのでしょうか。



先生のわかりやすいおはなしにひきこまれていきます。



保護者の皆様に先生の名アシスタントとして参加して頂きました。



真剣勝負。誰が早いかな…玉ねぎ皮むき競争！

講演会では、①身体や脳の発達への影響、②目、睡眠への影響 ③ネット依存への危惧、④言葉の発達や人と関わる力という四つの観点から、電子メディアへの長時間接触及び内容によっては子どもの発達に与える影響、乳幼児期からのメディア接触の正しい利用の仕方、ネットトラブルとその対策等について学ぶことが出来ました。今回の講演会は講師先生のお話を聞くだけの受け身のスタイルではなく、参加者同士の話し合いや演習、発表など参加型の体験を通しての学びでした。大勢の前で発表することは誰しも緊張すると思いますが、伊藤先生がうまくアシストして下さったので保護者の方も発

表しやすく、会全搬が和やかな雰囲気の中で行われました。そして話し合いや演習は保護者の方の考える時間や交流の機会にもなったように思います。さて、準備物の玉ねぎとスーパリーの袋ですが、これを使って行ったことは参加者全員による玉ねぎの皮むき競争でした。会場は盛り上がりを見せ、見事勝者になった方は表彰されると共にこの講演会で先生のアシスタントという荣誉ある役割も与えられました。この玉ねぎの皮むきは、子どもたちがゲームやネットを楽しむ時間に、玉ねぎの皮むき、手伝ってくれる？とお手伝いさせ、むいてくれた玉ねぎを食卓に出した時には、〇〇が玉ねぎの皮はね、〇〇がお手伝いしてくれました。玉ねぎの皮むき競争は、子どもたちのうれしい気持ち

真剣勝負。誰が早いかな…玉ねぎ皮むき競争！

を共有し、そのことがひいては自己肯定感や自尊心につながるっていくことで紹介された一例でした。玉ねぎならある程度冷蔵庫の中で日持ち可能なのでおすすめ！ということでああ、なるほど!!早速取り入れてみようと思われた方もいらつしやうと思います。参加された保護者の方からは、『あつという間に時間が過ぎた』『スマホやネットの影響力の強さと恐ろしさについて勉強になった』『テレビの時間より、手伝いや絵本の読み聞かせの時間を増やしたい』『子どもは親を見て育つと言われ、自らの行動等の重大性を感じた』といった感想が寄せられ、会の始めに先生が「この会で家に帰ったらやってみようということのひとつでもみつけて下さい。」とおっしゃった通り、参加された皆さんそれぞれが何かを心に決めてお帰りになった会だったように感じました。

これからも心豊かにたくましく生きるしらゆりっこの育成をめざして、保護者の方と共に学んでいきたいと思えます。

## 親学講座を開催しました

保護者間のコミュニケーション向上と気づきを支えるために

前年度保護者会長さんがとられた保護者アンケートの中に『保護者同士のコミュニケーションをとりながら』という保護者間のコミュニケーションが向上するよう望まれました。

そこで、保育園は保護者会長さんと相談し、4月の親子参観に合わせて親学の講座を開くことにしました。

親学とは、講師による講演の形ではなく、親自身が気づき自分なりに感じる・気づく・考えるそのことが親としての大切な「学び」につながって行くという考え方の研修です。親学という言葉には、「親としての学び」と「親になるための学び」の二つの意味が含まれています。例えば、親として子どもの発達段階に応じてどうかかわったらいいか?といった大切なことが学べます。それらは、知識やテクニックといった小手先の内容だけではなく、子どもを持つ喜びや、子どもの成長を喜ぶ気持ちを深め、豊かな親心を育むことが大切だと考えて

います。この親学を通じて、親としても人間としても成長し、自分に自信が持てるようになって欲しいという内容が研修のプログラムにおいて考えられています。

又、このプログラムを活用することにより親同士が語り合いながら学習することで、気づきによる親自身の学びに加え、交流を図ることによる親同士の関係作りにも役立つと考え、保護者の要望にぴったりの企画だと開催しました。

今回は、いろいろあるプログラムの中から、『聞く耳ってどんな耳』を行いました。話し手と聞き手双方の受け止め方や感じ方の違いを体験することにより、自分自身の聞き方を振り返ると共に、子どもの思いを受け止める聞き方に気づくという内容をクラス単位で3つのグループに分かれて行いました。

ファシリテーター(進行役)の進行で、はじめにアイスブレイクで仲間作りと雰囲気作りのためのゲームをしました。(後出しじゃんけん、バース



ファシリテーター(進行役)が分かりやすく楽しく親学の説明をします。



ファシリテーターの話に真剣に耳を傾けるお父さんやお母さん

デーチェーン等)アイスブレイクを行うと、さつきまで緊張していた保護者さんたちの緊張が和らぎ、一気にお互いの距離が近くなりました。その後のワークシヨップの話し合いもスムーズに行えるようになっていきました。ワークシヨップの中では3種類の聞き方で①反応しない(無視)②適当に相づち③一生懸命聞く)それぞれ体験し、体験した感想を話し合いました。振り返りで保護者の皆さんからこんな気づきや感想がありました。

- ・単純に話を聞くだけの講座も良いが、今回のようなグルーピングの講習も良いと感じた。
- ・親学と聞いて、子どもに接するやり方や育て方のお話かと思っていたら、親同士のコミュニケーションが多くて楽しかった。
- ・子どもと会話をする上で、改めて目と目を見て話すことの大切さを感じた。これから生活していく上

でも、今日の学びを活かしていきたい。うなずきや共感が合っただけで、本当の会話になることに気づきました。

・普段挨拶ぐらいいしか、交わさないほかの保護者さん達と話す、意見の交換が出来て良かった。

・分かっているけど十分に出来ないテーマで、やっぱり子育てをする上で大事なことだと再確認しました。子どもそれぞれに話を聞いて安心させてやりたいなと思いました。

・いつもはながら聞きが多く「ちょっとまって」「あとで」ということも多い。でもそれは、子どもの「聞いて」の気持ちを満たすことは出来ない。心を向けてきちんと少しの時間でも聞いてやろうと思った。

参加した保護者のアンケートでも、『参加してよかった』『講座の内容に満足した』という方がほとんどでした。今後も保護者同士のコミュニケーションの向上や気づきのためにいろいろな親学プログラムを活用していきたいと思えます。



目を見てうなずいて、一生懸命相手の話を聞く態度が大切

たのしくー！おいしくー！げんきよくー！  
 ～食育の取り組み～

しらゆり第3保育園では、「保育所における食育に関する指針」に基づいて、「食育を通じて子どもに期待する育ちの姿」に揚げられている「5つの子ども像」を食育年間計画の軸として食育に取り組んでいます。

◆お腹がすくリズムのもてる子ども

給食の時間にお腹がすき、食事を美味しくべられるように、午前中はしっかりと体を使って遊んでいます。体幹作りも意識し、以上児は、マラソン・鉄棒・雲梯・竹馬遊びを毎日しています。また散歩の帰り道や遊びの切り替え時等のさりげない会話の中で、「たくさん遊んでお腹が減ったね、



心身ともに健康な体作り。全身を使って遊びます。

美味しい給食食べようね。」と食事を楽しみにできるような声をかけています。

◆食べたいもの好きなものが増える子ども

食材に興味を持てるように、未満児は、食材に触れ、匂いをかいだり、洗ったり、時には、ほぐしたりちぎったりしています。自分達が触れた食材での食事に、喜びや「大好き」が増えていって欲しいと思います。又、保護者にも日々の会話や離乳食講座・試食会を通して、給食調理の工夫を伝えています。

◆一緒に食べたい人がいる子ども

給食は、信頼できる保育者や調理担当職員と一緒にテーブルを囲み、「美味しいね。」「よく噛んで食べようね。」と穏やかに楽しく食べています。また、天気の良い日は、3・4・5歳児が毎日順番に青空の下で食べています。「みんな



「おなかぺっぺこ！」  
 「給食、楽しいね、おいしいね!!」

なで一緒に食べることは楽しい。」ということを当たり前に感じて欲しいと願っています。

◆食事づくり、準備にかかわる子ども

菜園活動は、地域の方の指導を受け、土壌作りから苗植え・水遣り・収穫を子ども達が主体的にかかわれるようにしています。クッキング保育は、収穫の喜びは勿論、季節や伝統にも気づけるように体



「今日の給食のお汁は白菜スープだよ。」  
 「お手伝いさせてね！」  
 「給食、楽しみだね！」

験活動を積み重ねます。春は柏餅作り、夏は焼きとうもろこしにカレーパーティー、秋は豚汁作りや七厘での秋刀魚焼きにドラム缶での芋焼き、冬は餅つき・クリスマスケーキ作り・恵方まき作り等。その中で、水や太陽の恵み、人の知恵や労力に気づき、学び、感謝の気持ちが生み出されるようにしたいと思っています。

◆食べものを話題にする子ども

給食の時間には、調理担当者だけでなく全職員が交代で「お昼の放送」をしています。本日の給食のメニューと、食材、噛み噛み献立、季節の事柄などを放送しています。秋からは、年長児さんが放送当番に加わります。この放送がきっかけとなり、子どもも保育士も食事への関心が高まり、食事に関する会話が増えたように思います。

今後も、食育が、子ども達にとって、たくさん学びがあり、喜びを実感できるものであるように、全職員で取り組んでいきたいと思っています。

## 親子ブラッシング教室を開催して

しらゆり千鳥保育園では、毎年、子育て講座として「親子ブラッシング教室」を、0歳児〜2歳児クラスの希望された方を対象に開催しています。以前は、他の行事と同時に開催をしたり、午後からの時間に開催したりしていま

し、しかし駐車場の確保が大変なこともあり、昨年度から平日の午前の時間に開催しています。当初は平日の午前中

で希望者が少ないのではないかと心配していましたが、平日でも時間を作って参加される方が多くあり、これが保護者のニーズなのだと感じました。

親子ブラッシング教室には、歯科衛生士の方に来て頂き、歯磨き・仕上げ磨きのポイントを実際に歯磨きをしながら教えていただく他に、保護者の方からの「歯磨きを嫌

がって困ってます。何か良い方法ありますか？」等の質問に対して、優しく教えていた

「夜、歯ブラシを自分で持つて自分からしようとする気になり、仕上げ磨きも嫌がらずすることができました」「仕上げ磨き用の歯ブラシも子ども用の歯ブラシと同じでいいことがわかりました」「自分の仕上げ磨きの仕方が荒かったようで、痛くて今まで嫌がっていたことがわかりました」という感想があり、自分

の育児の見直しになったり、親子のより良いふれあいの場になったようです。

やはり保護者の方は、育児に対してとても関心があり、今回の親子ブラッシング教室以外にも子育て講演会や給食の試食会にも積極的に参加されます。また、松江市内認可保育園一斉開放日には保育園開放を行い在宅保育中の保護者の方にも来ていただいています。

「仕上げの歯磨きをさせてくれなんです…」  
悩みを相談中。

磨き残しをチェックする染め出し中。  
「じょうずにアーンできるね」

「このところがちょっと磨けてないみたい。  
もう少し歯ブラシを立てると磨きやすくなるよ」

聞きたい」というような積極的な声も聞かれ、これからも保護者の方のニーズに合わせた子育て支援の場を設けていくことが、保育園と保護者の連携を深めていくことになると思っています。今後も続けていきたいと思



# 視察研修旅行記

社会福祉法人「北信福祉会」(福島県)を訪ねて

事務局長体制を廃止し部門制を導入するなど組織運営のシステムづくり

ワークセンター島根 竹田 宏子

保育園を含む多種事業を運営しておられ、更に本部を設けておられる法人に行きたいと思いました。そして友人の協力も得

ながら素敵な法人に出会えました。

福島県福島市の社会福祉法人「北信福祉会」です。介護・保



ほくしん保育園

育・学童・児童発達支援・介護人材育成など30以上の事業を運営し、職員数は約500名にのぼります。ほくしん保育園に入ると元気いっぱいな子ども達の声が聞こえます。東日本大震災では建物被害は無く園児も職員も無事でしたが、落ち着いてきたのは昨年くらいから。現在は毎日給食の放射線モ

ニタリング、毎週園庭のモニタリングを実施し、どんぐりなど外の物を拾わないようにしているとのことですが、落ち着いたご様子が伝わりました。別棟のわくわくひろば虹は、当時開設された放射線遮断設備の遊技場です。その他、食事を大切に、なんと和太鼓もしておられました。

ハッピー愛ランドは、1階が特別養護老人ホーム・ショートステイ・訪問看護・デイサービスセンター、2階がケアハウスです。職員が少ない中、地域やボランティアやご家族の協力が増えており、立ち寄りやすく居心地のよい空間を作ること、利用者には口腔外科医に診てもらったうえで必要な方には90度臥床で食事をしていただくな



ハッピー愛ランド

ど、様々な取り組みをしておられました。

法人本部では、組織・経営・求人のお話を伺いました。「2年前に事務局長制を廃止し部門制にする等、次に繋がるシステム作りに試行錯誤中である。各事業を見直し成果が出た事業もあるが、それは、1年かけて入所者や職員に説明を積み重ね、協力していただいた結果だ」と思っている。経営ビジョンや施設をどう作っていくのかという課題に取り組む中で、職員はシビアな面や急激な変化を感じているかもしれない。モチベーションをあげるにはどうするかという面を大切にしている」とのことでした。

快く視察を受け入れていただきまして、感謝申し上げます。





## 西川島保育園（神奈川県横浜市）を訪ねて

「大都市の中でも自然豊かな静かな環境」

しらゆり千鳥保育園 生田 佳永

私は神奈川県横浜市にある西川島保育園を視察研修させていただきました。

西川島保育園は、全体的にとっても温かな雰囲気のある保育園で、横浜市という大都市の保育園でしたが、住宅街で静かな環境の中にあり、自然豊かな散歩



保育室の様子

コースもあり、大都市の中にもこういった保育園もあるのだなと感じ、子どもたちもとても伸び伸びとあそんでいる様子がありました。

毎週月曜日の朝に、3、4、5歳児が集まってリズムあそびの活動をしておられ、訪問したのがちょうど月曜日だったため、その様子を見学させていただきました。この保育園では、リズムあそび以外にも縦割り保育を行い、縦割りのクラス編成もしてあるとのことでした。リズムあそびでは、年齢に合わせて動きをする中で、年長クラスは下のク



バンブーあそび

ラスの見本となれるようにしっかりとやらうとする様子があり、年中・年少クラスは年長さんのようにやりたいという思いでやっていたりして、お互いに刺激を受けて取り組んでいる様子がありました。異年齢の関わりの中だからこそ育つ姿もあり、それを大切にしておられる園であると感じました。

また、乳幼児期には、ワクワクする楽しい体験、子どもたちが明日に期待できる活動が大切と考えておられ、ワクワクドキドキする保育経験を通して仲間の中で心と体を育むことを大切



西川島保育園前にて

にしているというお話も聞きました。子どもたちが、「保育園って楽しい」「保育園に行くのが楽しみ」と思えるような活動を体験し、生活を送れるようにしていくことの大切さはこれまでも感じていましたが、視察先の園でお話しを聞くことで、その大切さをより感じるようになりました。

今回の視察研修で、視察先の保育園の様子を見せていただいたり、お話しを聞いたりと、いろいろと、様々なことを感じ、刺激も受けました。今回感じたことをしっかりと心に留めて今後、自分自身の資質向上に努めていきたいと思えます。

# 社会福祉法人 しらゆり会

第一種事業

第二種事業

公益事業

(注)各施設の記載順は社会福祉法に定める事業の順とした

統括事務局 松江市山代町 934-5 TEL.0852-21-0789 FAX.0852-27-6985

## 社会福祉法第2条 第2項

第1号	生活保護法に規定する救護施設	救護施設 <b>泉の園</b> 松江市矢田町 472 TEL.0852-24-3512 FAX.0852-27-6987
第3号	老人福祉法に規定する特老、軽費老人ホーム	特別養護老人ホーム <b>詔光の里</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-4165 FAX.0852-27-6982
		特別養護老人ホーム <b>いやしの館</b> 松江市西川津町 733-1 TEL.0852-27-0081 FAX.0852-27-0071
		軽費老人ホーム ケアハウス <b>夢楽の郷</b> 松江市山代町 933-9 TEL.0852-31-9036 FAX.0852-31-9038
第4号	障害者総合支援法に規定する障害者支援施設	障がい者支援施設 <b>希望の園</b> 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-0791 FAX.0852-21-2829
		障がい者支援施設 <b>光洋の里</b> 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5400 FAX.0859-45-5411

## 社会福祉法第2条 第3項

第2号	児童福祉法に規定する保育所	児童福祉施設 <b>しらゆり保育園</b> 松江市大庭町 135-1 TEL.0852-22-3803 FAX.0852-60-7132
		児童福祉施設 <b>しらゆり第2保育園</b> 松江市西持田町 336-5 TEL.0852-23-3340 FAX.0852-60-7131
		児童福祉施設 <b>しらゆり第3保育園</b> 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-26-2356 FAX.0852-60-7130
		児童福祉施設 <b>しらゆり千鳥保育園</b> 松江市北田町 188-3 TEL.0852-21-3440 FAX.0852-60-7135
		老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 <b>ねざらい</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3328 FAX.0852-27-6982
第4号	老人福祉法に規定する事業	老人デイサービス事業 <b>きらめき</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3370 FAX.0852-27-6982
		就労継続支援A型事業 <b>ワークセンター島根</b> 松江市矢田町 250-110 TEL.0852-22-4105 FAX.0852-31-1167
第4の2号	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業	生活介護事業 <b>さざなみ</b> 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5407 FAX.0859-45-1107
		共同生活援助事業 <b>互助の館</b> 松江市東津田町 1324-1 TEL.0852-67-3500 FAX.0852-67-3500 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-31-8313 FAX.0852-31-8313
		相談支援事業所 <b>ねくすと</b> 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-5080 FAX.0852-21-2829

## 社会福祉法第26条 第1項

施行令第4条	介護保険法に規定する居宅介護支援事業 他	居宅介護支援事業所 <b>ナイス</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3288 FAX.0852-27-6982
		訪問看護ステーション <b>暖心</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-28-0906 FAX.0852-27-6982

しらゆり会では、日頃の活動報告や活動予定をホームページにて紹介しています。  
下記のホームページアドレスからアクセスしてください。

時代のニーズに応える、新しい社会福祉づくりに取り組んでいます。

<http://www.sirayurikai.or.jp/>



写真 しらゆり保育園夏祭り(2018.7.28)

恒例の保育園夏祭り。今年は連日の猛暑で、屋外での開催を見合わせ、屋内での開催となりました。夕方から保育園にやってくることに、低年齢の子どもたちの中には“なんで?” “?”…という子どもたちもいたようですが、たくさんのおうち飾りや立ち並ぶお店に少しずつお祭りの雰囲気を感じ、次第に慣れ楽しむことができたようです。

当日は育った小学生や地域の方々、園児のおじいちゃん、おばあちゃんもおいでくださってにぎやかな夏祭りとなりました。

## 編集後記

今年は雨の少ない空梅雨と気をよくしていたところ、突然の大阪北部地震、西日本豪雨と短期間の間に大きな二つの災害に見舞われました。そしてその後の連日の猛暑・酷暑。暑さと闘いながら復興に向け頑張っておられる皆様方にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

それにしても近年の異常気象は、この先世の中がどうなっていくのだろうと、危惧せずにはいられません。日頃から万全な備えを心がけ、万一の事態に対応できるようにしておかなくてはならないと強く思います。

終わりにりましたが、発刊に際しお忙しい中原稿をお寄せいただきました皆さま方に心よりお礼申し上げます。

# しらゆり



しらゆり【第34号】平成30年8月発行

- 発行人/理事長 国頭正治
- 発行/社会福祉法人しらゆり会
- 編集制作/株式会社計画設計工房

※掲載の文章、写真などを無断転用・引用することを禁じます。また、掲載の氏名、写真は承諾を得て掲載しています。